

2022 年 10 月 13 日

令和 4 年度第 1 回作井技術委員会 議事録

作井技術委員会 事務局

日時	2022 年 10 月 12 日（水） 15:30 - 17:30
場所	ENEOS ビル 16 階 1608 & 1609 会議室、MS Teams
出席者 (敬称略)	中田（ADOC・オンライン）、遠藤（Halliburton）、石川・徳田（INPEX）、斎藤（INPEX ドリリング・オンライン・代理）、青木・黒田（JAPEX）、前田・長久保（JDC）、田中（JFE スチール）、重満（JMU）、安部・草薙（JOGMEC）、久野・石井・吉田・遠藤・吉満（JX）、谷口（Schlumberger）、菅野（SKE）、長縄（秋田大学）、福島（出光興産・オンライン）、大野（関東天然瓦斯開発）、山田（九州大学）、荻田（ダイキン工業）、窪田（ティクス TSK）、木崎（地熱技術開発・オンライン・代理）、小玉（テルナイト・オンライン）、須藤（東北大学・オンライン）、小林（日本製鉄）、藤田（深田サルベージ建設）、中台（物理計測コンサルタント） 以上 32 名、敬称略

会議目的	1. 報告事項 2. 令和 4 年度 春季講演会 全体と作井部門の総括 3. 令和 4 年度 作成技術委員会の活動計画について（審議） 特別講演「ガスハイドレートを利用した海底下二酸化炭素貯留」
内容	議題 1：報告事項 以下の事項について報告した。ハイライトは以下の通りで詳細は添付会議資料を参照。 - 作井技術委員の交代・異動について、交代が多数となったため、概要のみを説明。 - 第 87 期第 3 回理事会報告：会員の異動/秋季講演会準備進捗状況報告/石油技術協会賞の推薦について/第 88 回（令和 5 年度）総会及び春季講演会について/将来像検討会議の発足について/会計報告/各委員会の活動状況 - 分科会活動 - 大水深分科会：座長の前田氏より挨拶。11 月 14 日の週に分科会を開催できるように調整中。 - CCS/CCUS 分科会：新座長の黒田氏より挨拶。次回分科会については、追加アンケート実施も検討の上、テーマを決定次第、開催を行う予定。 - 若手技術者交流会：新座長の草薙氏より挨拶。ここ数年コロナ禍の影響により対面の会合が開けていなかったが、メンバーリスト更新の上、11 月中に可能であれば対面式で顔合わせ実施予定。

	議題 2：令和 4 年度 春季講演会 全体と作井部門の総括 以下の事項について報告・協議した。詳細は添付資料を参照。 - 参加人数：シンポジウム最大 110 名（内訳：会場 61 名/オンライン 49 名）/ 個人講演最大 103 名（内訳：会場 54 名/オンライン 49 名） - アンケート結果紹介：アンケート数 43 件、開催方式及び併催による参加費に関わる意見紹介、パネルディスカッション形式についての意見紹介、ならびに来年度に希望するテーマのアンケート結果の紹介。 議題 3：令和 4 年度 作井技術委員会の活動計画について 以下の事項について協議し、決定した。 - 作井技術委員会活動方針：事前配布した添付の活動方針について説明を行い、活動方針について作井技術委員から異議はなく、全会一致で承認を得た。 - 年間スケジュール：事前配布した添付の年間スケジュールについて説明を行い、年間スケジュールについて作井技術委員から異議はなく、全会一致で承認を得た。 - 活動予算：昨年度はコロナ禍の影響により委員会の実開催ができなかったこともあり、予算 20 万円に対し、支出が 62,094 円で 137,906 円が今年度に繰り越されている。本年度の予算は、繰り越し金を含め昨年度と同じ 20 万円。 特別講演 講演タイトル：「ガスハイドレートを利用した海底下二酸化炭素貯留」 講演者：東京大学海洋技術環境学専攻 佐藤徹教授
会議資料	 令和4年度 第1回作井技術委員

以上